

えんぎょうじゃにきぞう 役の行者・二鬼像

- ◇ 指定日 昭和51年4月21日
- ◇ 所在地 腹帯
- ◇ 所有者 個人

役の行者は、修行によって得た呪術を用いて鬼神きじんを操ることができたとされています。

江戸時代前期の制作とみられ、前鬼・後鬼を従えて岩座いわざに腰かけ、袈裟けさの上に木葉衣このはごろもを着て右手に錫杖しゃくじょうを持っています。

頭巾をかぶり髭を蓄えた老僧ろうそうの顔は、温和な中にも厳しさをうかがうことができます。

右側の前鬼は口を開け両肩から衣を回し、左足を立てて岩座に座し、まさかりを持っています。

左側の後鬼は口を閉じ笈とを背負い、左手に水瓶すいびょうを持っています。



総高 89.1cm 台座幅 29.6cm 台座奥行 26.3cm